

大和郡山市消防団

活動服・冬制服等

仕様書

大和郡山市

大和郡山市消防団 活動服（上・下）

この仕様書は、大和郡山市において調達する消防団用活動服（以下「活動服」という）について必要な事項を定める。

1. 条件

- (1) 当活動服の製作に要する費用は、当初に契約した見積額のとおりとし、追加支出は一切認めない。
- (2) 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ（ヨリ）ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (3) 縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
- (4) 色相においても当市の標準指定色にあわせる事とし、色差は標準色に対して（ $\Delta 0.6$ 以内）である事。
- (5) 製品の納入に際しては、1 着ごとにプレスした後ビニール袋により包装し、氏名、サイズが容易に確認できるようにし、消防団名簿に基づき、分団、部ごとにまとめて納品すること。
- (6) この仕様書に疑義を生じたときは、係員の指示を受けなければならない。

2. 提出物

- (1) 原反出荷済証明書
落札者は納品時に、紡績メーカーが発行した原反出荷済証明書を提出する事。
- (2) 見本品提出
落札業者は早急に試作品を提出し、係員の検査を受けること。この時、仕様書の内容を落札者の解釈にて勝手に変更してはならない。

3. 型紙、NUCラベル

落札者は、製造に関わる型紙（製造メーカー調達品）とNUCラベルを日本消防協会推奨の（公財）日本ユニフォームセンターから調達する事。NUCラベルは活動服上下に縫い付ける事。

4. デザイン

落札者は日本消防協会推奨のデザイン、生地、型紙を使用する事。

5. 品名（品番）及び数量

消防団活動服 上衣 株式会社イマジョー TX2001T 7枚
(マジック式名札とマジック式階級章をセットとすること)
消防団活動服 下衣 株式会社イマジョー TX2001J 7本

6. 採寸

(1) 採寸については、次の内容で各人によりサイズを聞き取りするため、人員を派遣すること。

採寸日程：令和7年4月19日（土）9：00～11：00

採寸場所：大和郡山消防署 3階 会議室

(2) ズボンについては股下の寸法は各人の体型に合わせて仕上げること。

7. 納期

令和7年6月30日（月）

8. 納入場所 中央公民館（三の丸会館）防災倉庫

9. その他

今年度中に新たに入団があった場合の活動服の追加発注についても、同単価にて納品し、以下の物品についても、同様とすること。

10. 制式（別図のとおり）

(1) 型式

ア 上衣 カッター衿型肩章付き、左上前、見頃及び袖配色切替、前比翼ファスナー仕立て、両胸雨ブタ付きアウトポケット（面ファスナー止め）、袖口ファスナー仕立て、右胸階級台、左胸名札台
イ ズボン ワンタック、長ズボン、腰帯付き、両脇切りポケット、アジャスター付き（ゴム不可）、両脇雨ブタ付きカーゴポケット（カーゴポケットの雨ブタのみ配色）、左右尻ポケット（左のみフラップ付き釦止め）

(2) 使用表生地材料（A）

ア 素材： 東レ 制電・先染め・抗菌消臭ツイル FT2000
静電防止素材（導電性カーボン系全面混入）
抗菌・消臭繊維織り込み（加工は不可）
イ 混紡率： 再生ポリエステル 55% ポリエステル 10%
レーヨン 25% ナイロン（消臭繊維） 10%
ウ 色相： C/#TMA200 濃紺（トップ染め）
日立カラーアナライザー C-2000S使用

色相 (H) 2. 4 P B
明度 (V) 1. 7
彩度 (C) 1. 3
色 差 (ΔE) 0. 6 以内

(3) 副生地材料 (B)

ア 素 材 : 表生地材料 (A) と同一規格
イ 混紡率 : 表生地材料 (A) と同一混紡率
ウ 色 相 : C/#TMA100 オレンジ (指定色)
日立カラーアナライザー C-2000S 使用
色相 (H) 1. 4 Y R
明度 (V) 5. 5
彩度 (C) 12. 0
色 差 (ΔE) 0. 6 以内

11. 縫 製

(1) 上 衣

(ア) 主 衿

衿には芯を入れ、衿巾は背中央で 8 cm (衿台巾 4 cm) 衿先巾 8 cm とする。

(イ) 身 頃

前身は 3 枚はぎとし、雨ボタン上部、ポケット下部から約 4 cm の箇所で縫い合わせる。中段には配色を施す。

(ウ) 衿 吊

衿吊は所定のものを衿付き中央にはさみ縫付とする。

(エ) 胸ポケット

胸ポケットは左右 2 個で雨蓋付きとし、マジック止めとする。雨蓋は、はさみ付けとし、切り返しはオーバーロック掛けとする。

(オ) ペン差し

左袖の肩章下部から 10 cm 下の位置に 2 本入りペン差しを取り付ける。

(カ) 前立て

前立ては、比翼付きとし幅 4 cm とし、面ファスナーを 3 箇所縫い付け、ファスナーで開閉出来るものとする。

(キ) 背部 (ヨーク)

1 枚ヨークとする。巾は中央部で 16 cm とし、表一条飾りミシン縫いとする。

(ク) 肩縫い

片倒しくるみ縫いとする。

(ケ) 脇縫い

本縫し更にオーバーロックをかける。(インターロックミシン可)

(コ) 袖縫い

袖の縫合せは本縫し、更にオーバーロックをかける。(インターロック可)

(サ) 袖付け縫い

本縫し更にオーバーロックをかけること。(インターロックミシン可)

(シ) 袖 口

カフス巾 6cmとし、ファスナー式とする。

(ス) 片 布

上前胸ポケット裏面中央に所属・名前等を記入できる片布を縫付け、その下に品質表示を縫付ける。

(セ) サイズネーム

衿付中央の下線に、はさみ縫い付ける。

(ソ) 階級章台

下前身頃雨蓋付根、中央上部 1.5cm 上に、縦 2.5cm 横 4.0cm のマジックテープを四方縫い付ける。

(タ) 肩 章

巾は 5cm とし、端を袖付けの縫目に縫込み、クロスステッチを入れる。
肩章の先は衿付根部とし、ボタンで止める。

(チ) 裾折返し

裾は 2 ツ折り縫いとして、水平タイプとする。

(ツ) プリント

別紙参照

(テ) 胸刺繍

左胸に金茶色で「大和郡山市消防団」と刺繍する。

(2) ズボン

(ア) 前タック

左右各 1 本を外向けに付け、ワンタックとする

(イ) 腰 帯

帯巾 3.5cm 仕上り寸法とし、芯地を入れ、裏はマーベルトを付ける。
また、サイズ調整用のアジャスターを取り付ける。
(ゴムは不可)

(ウ) ベルトループ

上部にループ巾 2cm、長さ 5cm のループを 7 本縫い付ける。

(エ) 両脇ポケット

両脇口の個所に0.6cmの飾りを掛け、他は割り縫い、口巾16cmとし、口端に門止めをする。右袋内に共生地で小物ポケットを縫い付ける。

(オ) カーゴポケット

両脇に雨ボタン付きカーゴポケットを縫い付け、口巾17cm、深さ20cmとし、雨ボタンは中央を面ファスナーにて止める。雨ボタンのみ配色生地を使用する。

(カ) 左右尻ポケット

上端より約8cm下に口巾15cm、深さ16.5cmの片玉にて雨ボタン付きのポケットを右に付け、雨ボタンは釦にて止める。
ポケット両口端にはそれぞれ門止めとする。

(キ) 相引き・内股・尻縫い

二本針縫いとする。

(ク) 棒シック

長さ9cm、巾2cmのものを付ける。

(ケ) 裾口

オーバーロック掛けフリー仕上げとする。

(コ) 靴づれ

巾2cm、長さ18cmのものを付ける。

(サ) サイズネーム

上前、腰裏に取り付ける。

(シ) 穴かがり

機械穴、鳩目とする。

12. サイズ表

上 衣

(出来上がり寸法) (単位：c m)

	ネック	上衣丈	胸囲	肩巾	袖丈
A S	3 7	7 5	1 0 0	4 3	5 3
A M	3 8	7 7	1 0 5	4 4	5 5
A L	3 9	7 9	1 1 0	4 6	5 7
A L L	4 0	8 1	1 1 5	4 8	5 9
A 3 L	4 2	8 4	1 2 0	4 9	6 3
B S	3 8	7 5	1 1 0	4 5	5 2
B M	4 0	7 8	1 1 5	4 7	5 4
B L	4 2	8 1	1 2 0	4 9	5 6
B L L	4 4	8 1	1 2 5	5 1	5 6
B 3 L	4 7	8 4	1 3 0	5 3	6 0

ズ ボ ン

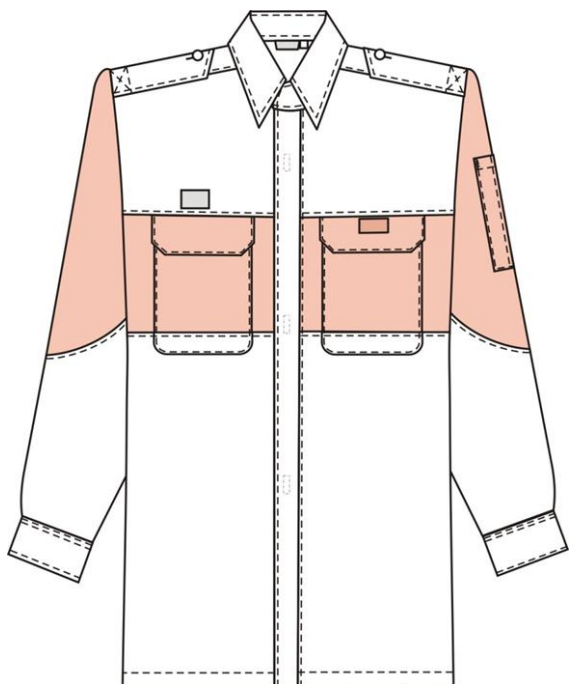
(出来上がり寸法) (単位：c m)

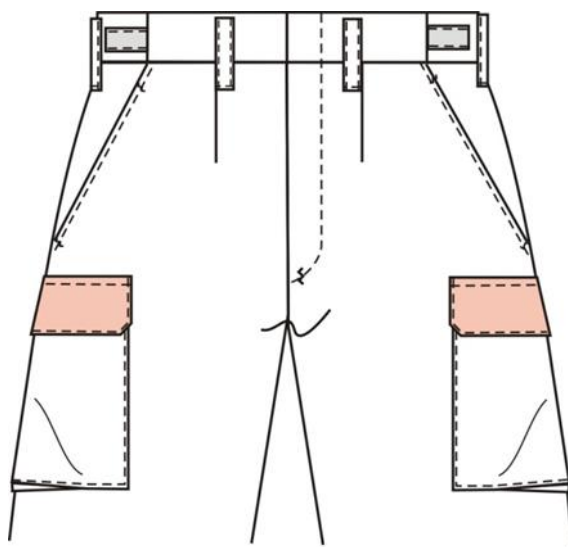
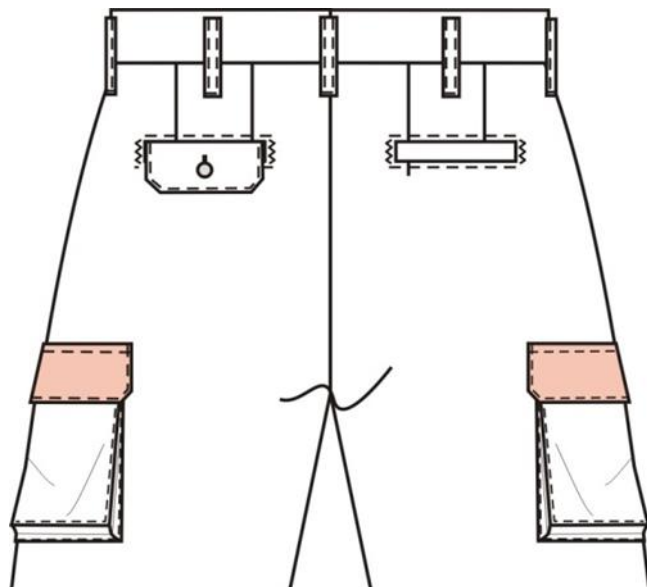
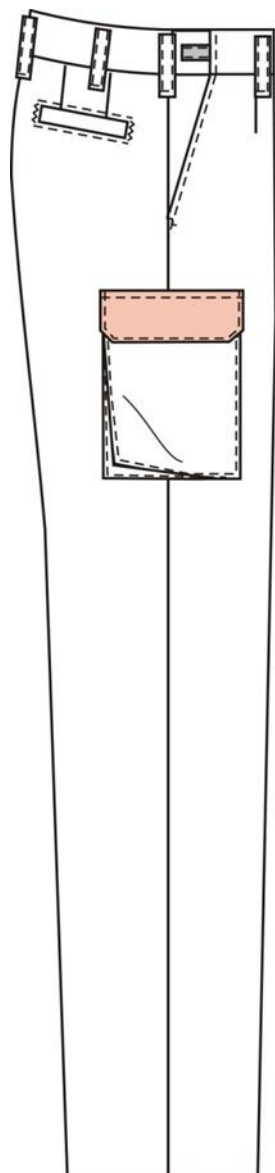
	腰廻	股下	ワタリ巾
A 1	7 0	フリーサイズ	3 3
A 2	7 3	〃	3 3
A 3	7 6	〃	3 4
A 4	7 9	〃	3 4
A 5	8 2	〃	3 5
A 6	8 5	〃	3 5
A 7	8 8	〃	3 6
B 2	9 1	〃	3 6
B 3	9 5	〃	3 7
B 4	1 0 0	〃	3 8
B 5	1 0 5	〃	3 9
B 6	1 1 0	〃	4 0

1 3. 絵図面（NUCラベル）



1 4. 絵図面





大和郡山市消防団 冬制服（上・下）

この仕様書は、大和郡山市（以下「当市」という）が採用する消防団員用冬制服について定める。

1. 品名及び数量 エミュ消防団員用制服 NK-A2800 7着
 [上衣EM755100・ズボンEM755140WA]
 下記を付属すること。

- ・階級章：金属(差込式) ＊階級については当市が指示する。
- ・エンジ色の裏付ネクタイ

- 上 衣 剣衿シングル打合3ツ釦、袖口階級線入り、左胸箱縁ポケット、両腰片玉縁付ポケット、
 上部脇裏タバコ入れ、背抜き仕立て、センターベント
- ズボン 長ズボン腰ベルト、外タック天狗付ファスナー式、脇斜切換ポケット、右ポケット内側
 袋にて忍ポケット付、両後片玉縁ポケット（雨蓋なし／左側のみ釦止）、裾口シングル、
 側章付、ウエストアジャスター付

2. 採寸

- (1) 採寸については、次の内容で各人によりサイズを聞き取りするため、人員を派遣
 すること。

採寸日程：令和7年4月19日（土）9：00～11：00

採寸場所：大和郡山消防署 3階 会議室

- (2) ズボンについては股下の寸法は各人の体型に合わせて仕上げること。

3. 材料

表地	ニッケA-2800トップ染 カシミヤドスキン（黒） 混紡率：ウール50% ポリエステル50%		
胴裏	ポリエステル100%	袋地	クリーム
袖裏	同上	腰裏	クリーム
袋地	クリーム	ベルト芯	38mm巾
前芯	バイリーン	ファスナー	YKKミトラ（金属製）
カラークロス	日本フェルト<80>	釦	15mm（黒色）
服釦	消防団章入（金属製）	側章	人絹縞縁15mm（黒色）
袖線	金糸繡	縫糸	ポリエステル50（黒色）
衿吊	エミュ織ネーム	サイズマーク	印刷表示
縫糸	ポリエステル50（黒色）	品質表示	印刷絵表示

4. 縫製条件

- (1) 裁 縫 糸調子は、上下ともツレ・タルミのない様に最良の調子で縫い、返し針を完全に
 すること。
- (2) 裁 断 型入れは布目を正しく通し、全体を同一の反で仕上げるよう充分留意すること。

(3) 仕 立 優美なスタイルと着崩れのしない上級仕立とすること。

5. 縫製要領

①上 衣

- | | |
|------------|--|
| (1) 衿及び衿付 | カラークロスに芯を貼り、折返し線はミシン縫いとする。芯はバイアスでとり、表衿とカラークロスとを合せ縫い返し、表衿は身返しと合せてミシン縫割とする。返衿巾標準8. 5 c m、衿腰巾0. 6 c mとする。 |
| (2) ステッチ | 上衿、返り衿、フロント、胸、腰ポケットに巾0. 6 c mのステッチを入れる。 |
| (3) 身返し | 衿付から裾まで継目なし、身返しは第1 釦位置で9 c m、裾で8 c m以上とする。 |
| (4) 返し止縫い | 身返し上部より内ポケット迄とする。 |
| (5) 胸ポケット | 上前に箱ポケットを1 個付ける。
口巾1 2 c m・深さ1 4 c m・箱巾2. 6 c mとする。 |
| (6) 腰ポケット | フラップ付ポケット、フラップ巾5. 5 c m・口巾1 5 c m・深さ2 0 c mとし片玉とする。下前のみ忍ポケット付とする。 |
| (7) 肩縫い | 割縫い、裏地は片倒しとする。肩綿を肩先に芯と裏の間に取り付ける。 |
| (8) 背縫い | 表は割縫いとし、裁目はカラゲミシン始末とする。
背中央裾はセンターベントとする。 |
| (9) 脇縫い | 裁目はカラゲミシン始末とする。 |
| (10) 裁腹 | 前身表の裾下より裾までサイドピースとし、切り換える。 |
| (11) ダーツ | 胸、脇に各1 本、裏も同様。表ダーツは縫い割り、裏ダーツは片倒しとする。 |
| (12) 袖・袖付 | 表地、地縫い割、袖芯を入れ裏地と中とじをする。袖先より1 0 c mに階級線として金糸縹線を縫着する。袖先表地折返しは3 c mとする。
左袖には、当市が指定するエンブレム台を縫い付けること。 |
| (13) 裏 | 前身頃は裏付とし、背裏は背抜き仕立てとする。背中央で2 5 c m、脇で1 1 c mとする。背裏裾は2 c mの3 つ折りとする。 |
| (14) 内ポケット | 左右各1 個片玉口巾1 4 c m・深さ2 0 c m・三角型雨蓋釦止めとする。
右のみ雨蓋付きとする。 |
| (15) タバコ入れ | 上前に見返しにかけて口巾9 c m・深さ1 0 c m片玉縁ポケットを設ける。 |
| (16) 芯 | 前身頃に指定の芯を入れる。 |
| (17) 裾 | 表地折返し仕上り3 c mとし、裏地は1 c mのキセ掛けとする。 |
| (18) 階級章止め | 下前の所定の位置に図示通りループ2 本を付ける。 |
| (19) 衿吊 | 衿中央に衿吊を付ける。 |
| (20) サイズ表示 | 衿吊下位置に付ける。 |
| (21) 片布 | 下前内ポケット口下6 c mに付ける。 |

②ズボン

- | | |
|--------------|--|
| (1) 腰ベルト | 仕上り 4 c mとし縦地使用で指定の芯を入れる。 |
| (2) 腰裏 | 指定腰裏とし、表地と無理のない様に注意し入念に縫製する。 |
| (3) 前タック | 左右各 1 本外向きにつける。深さは約 1 c mとする。 |
| (4) 脇ポケット | 左右各 1 個斜切換ポケット、上部より 5. 5 c m下り・口巾 1 5 c m・深さ口下端より 1 3 c mとする。口両端は門止めを施す。 |
| (5) 忍ポケット | 右脇ポケット内に、忍ポケットをつける。 |
| (6) 後ポケット | 後身頃左右に各 1 個、上端より 8 c m下りの位置に、口巾 1 4 c m・深さ 1 8 c m・片玉とする。左ポケットのみ釦止めとする。 |
| (7) 側章 | 指定の黒縞縁を脇線より後身頃側に付ける。 |
| (8) 後ダーツ | 2 本とし、地縫い片倒しとする。ウエスト 1 0 0 c m以上は 1 本でも可とする。 |
| (9) 相引、内股、尻縫 | 裁目はオーバーロック縫い、尻縫い・内股は二重縫い又は環縫いとする。 |
| (10) 天狗、前立 | 天狗、前立は芯を入れること。 |
| (11) ベルト通し | 上端より 1 c m下りに巾 0. 8 c m・長さ 4. 5 c mのループを 7 本付ける。 |
| (12) シック | 棒シックとする。 |
| (13) アジャスター | 腰ベルト部左右各 1 箇所にもウエストサイズ調整（片側± 3 c m）用アジャスターを設け、見本の通りとする。 |
| (14) 裾 | 表地折返しは 5 c m以上とする。 |
| (15) サイズ表示 | 第 1 ループに付ける。 |
| (16) 片布 | 下前脇ポケット内側に付ける。 |
| (17) 品質表示 | 片布下方に縫い付ける。 |

6. 納 期 令和 7 年 6 月 3 0 日（月）

7. 納入場所 中央公民館（三の丸会館）防災倉庫

8. その他

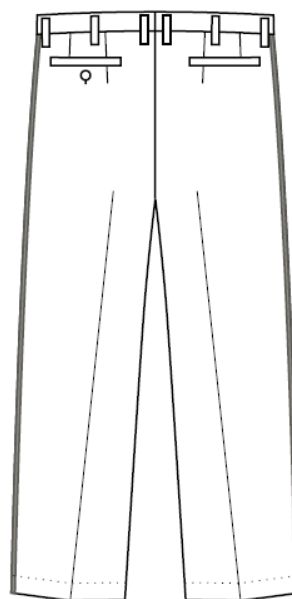
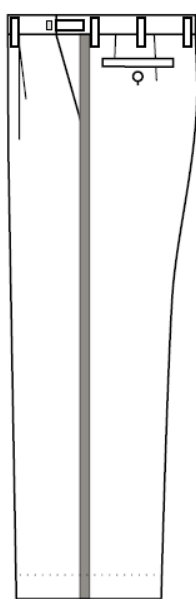
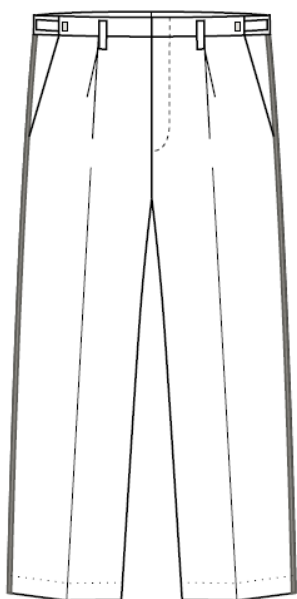
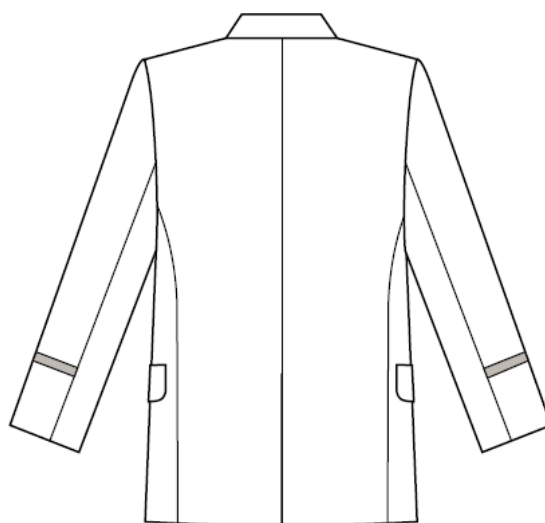
- (1) 製品は丁寧にプレスし、1 着ずつ袋に入れ納入すること。
- (2) 契約者は当市が指示する際、生地メーカーが発行する「品質並びに生地出荷引受証明書」を提出すること。

9. 寸法

(単位：c m)

	上 衣				ズボン	
	上衣丈	肩巾	袖丈	胸囲	腰囲	股下
A S	7 0	4 4	5 5	1 0 2	7 4	6 7
A M	7 2	4 5	5 6	1 0 6	7 8	7 0
A L	7 4	4 6	5 8	1 1 0	8 2	7 3
A L L	7 6	4 7	6 0	1 1 4	8 8	7 6
B S	7 0	4 5	5 4	1 1 0	8 5	7 0
B M	7 2	4 7	5 5	1 1 4	9 1	7 0
B L	7 4	4 9	5 7	1 1 8	9 5	7 3
B L L	7 6	5 0	5 9	1 2 2	1 0 0	7 3
Y M	7 2	4 3	5 7	1 0 3	7 6	7 5
Y L	7 4	4 4	5 9	1 0 6	8 0	7 8
Y L L	7 6	4 5	6 1	1 0 9	8 4	8 0

許容差 (上衣丈±1 c m 肩巾±0,5 c m 胸囲±2 c m 腰囲± 1 c m 袖丈±0,5 c m 股下±1 c m)



大和郡山市消防団 ナイロンベルト (7個)

1. ベルト部

(1) ナイロン袋綴ベルト

標準 厚さ2.5mm×幅30mm

(2) 高周波処理

先端・バックル部

2. バックル部

(1) ワンタッチバックル式

(2) バックル中央に消防団マーク入り

3. 色相 オレンジ色

4. 寸法 並尺100cm・長尺120cmとすること

5. その他 ベルトとバックル部は着脱可能、且つ切断調節できるものとする

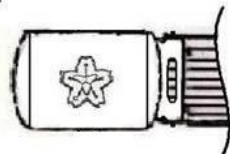
6. 納期 令和7年6月30日(月)

7. 納入場所 中央公民館(三の丸会館)防災倉庫

ナイロンベルト 図



バックル 図



大和郡山市消防団 アポロキャップ (7個)

この仕様書は、大和郡山市消防団（以下、「当市」とする）において購入する消防団員用アポロキャップについて定める。

1. 条件

- (1) アポロキャップの購入に関する契約の範囲は、当市が指定する場所に納入するまでの一切とする。また、これらに要する経費は全て契約金額に含むものとする。
- (2) 当アポロキャップの製作に要する費用は、当初に契約した見積額のとおりとし、追加支出はいっさい認めない。従ってデザイン料その他について、問題等が生じた場合には受注者の責任において、解決するものとする
- (3) 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ、縺りムラなどの目立たないものを、また織上りは均正で、織キズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (4) 縫製について、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう充分配慮し行われなければならない。

2. 仕様

- (1) 型式 前立切替型、庇付き、後部アジャスターレール付き、天井6枚ハギ、天釦付き、前立てメッシュ付、アゴゴム付き、前立部直接指定刺繍入り、庇部月桂樹指定刺繍入り

(2) 材料等

- ①主生地 生地 T81932 裏面ストレッチツイル
品番 MU6300W
混紡率 ポリエステル 95%
綿 5%
色相 C/# 紺色（当市指定色）
- ②裏地 厚手の T/C 素材とし、接着可能な芯であること。
- ③庇芯 曲げ加工を施した硬質な庇芯を使用すること。
- ④縫製糸 スパン糸を使用する。

(3) 縫製要領

①前立部

前立部で切り替え、各天面と緩やかなアーチ状にて縫合する。割縫いとし、裏面は始末テープをつけ、飾ステッチをかける。内側には、メッシュ素材を使用した前立てを縫着すること。

②天井面

天井面は、6 方型とし、各縫合部は地縫いする。割縫いとし、裏面は始末テープを付け、飾ステッチを掛ける。

③庇

表裏を縫い合わせ、芯を挟みこむ。

底本体には、指定デザインの月桂樹刺繍を施す。刺繍糸は金糸とする。

④汗取り

肌触りの良い素材にて内側下端に縫合する。

⑤アジャスター

後部中部にはサイズ調整用のアジャスターを装備する。中央左側に 1.5cm 巾の共生地のアジャスタータブをはさみこみ、縫い付ける。タブの先端はループ状としアジャスタースライダーを取り付ける。中央右側には、レールを縫い付け、周囲寸法の調整が可能であること。

⑥天釦

天井中央部には、共生地を丸くくるんだ天釦を 1 個装着する。

⑦前立部刺繍

消防本部指定のデザインを指示通り刺繍すること。詳細は参考仕様図面通りとし、事前に承認を得てから本生産にかかること。

⑧氏名片布

汗取りに縫着または熱接着し、容易にはがれないものとする。

⑨アゴゴム

黒色のオペロンゴムを底横本体に挟み縫いつけるものとする。

3. サイズ規格

フリーサイズ及び LL サイズの展開とする。

4. 納期等

納期 令和 7 年 6 月 3 0 日 (月)

納入場所 中央公民館 (三の丸会館) 防災倉庫

5. その他 本仕様書に明記されていないものは、担当職員と十分協議すること。

6. 参考仕様写真



消防団員革手袋 （7双）

1. 使用素材

（1）主要部分

- 本体甲部 パラ系アラミド繊維、メタ系アラミド繊維後編編物2重ニット
人工皮革
- 本体掌部 パラ系アラミド繊維、メタ系アラミド繊維後編編物2重ニット
エンボス加工人工皮革

（2）附属部分

- 袖口 綿、ポリウレタン、ゴム
- 甲飾り 人口皮革、衝撃吸収材、反射材
- 掌アテ エンボス加工人工皮革
- 袖口 開閉止め 反射材
- 縁取りテープ スパン糸 30番
- シボリゴム
- 上記以外の部分 ケブラー 縫糸 30番
- 脇 ソフトタイプの人口皮革
- 袖口カウス 人口皮革
- 所属・氏名片布 綿

2. 構造及び縫製

（1）構造

- ①パラ系アラミド繊維、メタ系アラミド繊維後編編物2重ニット素材を使用し、ケブラー縫糸により手袋状に縫製する。
- ②掌部は補強用アテ素材としてエンボス加工人工皮革を付けて一部2重構造とする。
- ③補強用アテ素材は、掌部指側5本の先端から手首までの掌部を補強している。
- ④甲部には人口皮革の保護用甲飾りを縫い付け、衝撃吸収材を内部に使用する。
- ⑤保護用甲飾りは掌の上部に位置し、掌部を保護している。
- ⑥保護用甲飾りの上部に反射材を縫い付けている。
- ⑦爪先上部は人口皮革にて補強する。
- ⑧袖口には、伸縮性のゴムが編み込まれた綿とポリウレタン混紡のパイル状素材を縫い付けている。
- ⑨袖口のマジックは掌側に取り付け、上部全面に反射材を縫い付けている。
- ⑩袖口開閉部には、人口皮革を三角状に縫い付けている。

（2）縫製

- ①縫製は内縫いとする。
- ②指部は、指内部に縫い目の無いガンカットにより縫製する。

③補強用アテ

表側からエンボス加工人工皮革を各指先から手首までケブラー縫糸で縫い付けている。

④保護用甲飾り

3つ山飾りとし、人工皮革をケブラー縫糸で、中心部に反射材をスパン糸で縫付け、甲部所定の位置につける。

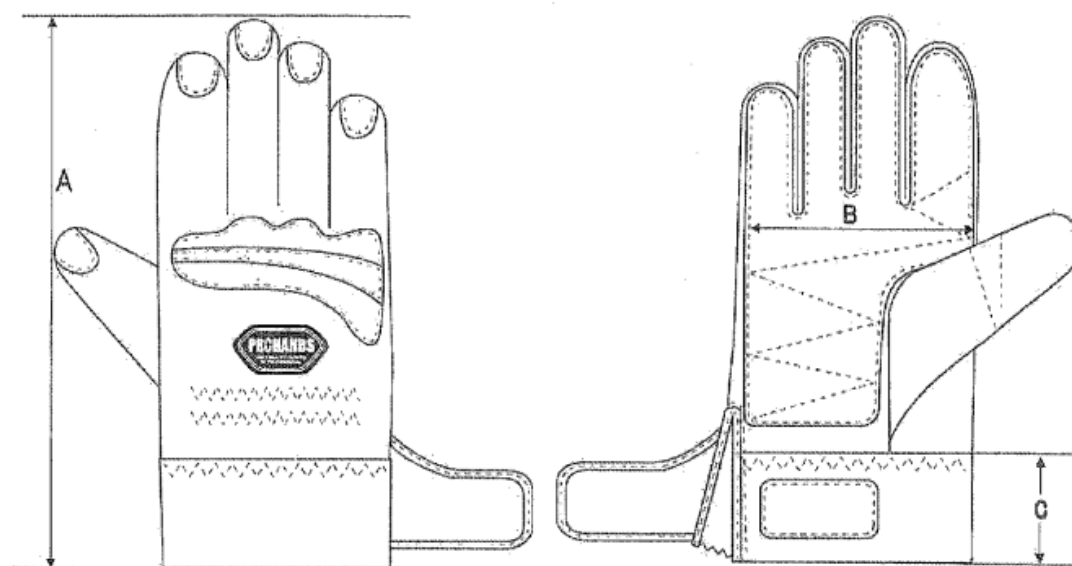
⑤袖口シボリ

袖口部分に帯ゴム（幅 15mm）を縫い付けている。

⑥袖口止め

マジックテープを袖口部分に縫い付けている。

3. 寸法



(単位 : mm)

サイズ表	S	M	L	LL	3L
A	225	233	240	245	250
B	82	85	87	90	93
C	60	60	60	60	60

(許容範囲 ±5mm)

4. 納期

令和7年6月30日（月）

5. 納入場所

中央公民館（三の丸会館）防災倉庫

消防団員冬用制帽 （7個）

（参考銘柄）エミユ黒カシドス消防団員用制帽 NK-A2800

（1）主材料

混 紡 率 ウール 50 % ポリエステル 50 %
色 相 黒

（2）縫製

① 天井・まち

ア 裏天井ビニールを張り、円端をミシンで逢着する。表天井と裏天井を合わせ、円端をミシンで縫い合わせる。

イ まちは前面 2 枚、後面 2 枚を縫い合わせる。

ウ 天井とまちを切り込み合わせ、ふくらみを作りながら縫い合わせ輪状とする。

② 腰布 裁断した腰布は後部を縫い合わせ、輪状とする。

③ 前立バネ 天井正面内側に、前立バネの先端を縫い付ける。

④ 腰枠・庇付け

ア ポリエチレン板を頭廻り寸法に合せ、輪状にミシン等で縫止めする。

イ 腰枠に庇を縫い付ける。

⑤ 仕上げ・まとめ

ア 庇の付いた腰枠に帽体を挿入し、帽体の前面中央と庇の中央を正しく合わせ前方底部をまとめ縫いする。

イ 末端生地を内側に折返し、ぴん皮を縫い付け、後部の両端を合わせ、鳩目で重ね止めする。

ウ 帽子の内側の天井に輪状のプラスチック枠を入れる。

エ 蛇腹を腰に巻く。

オ 帽章を、帽子の前立て線の中央線に添うように取り付ける。

カ あご紐を本体側面の下端に耳章で止める。

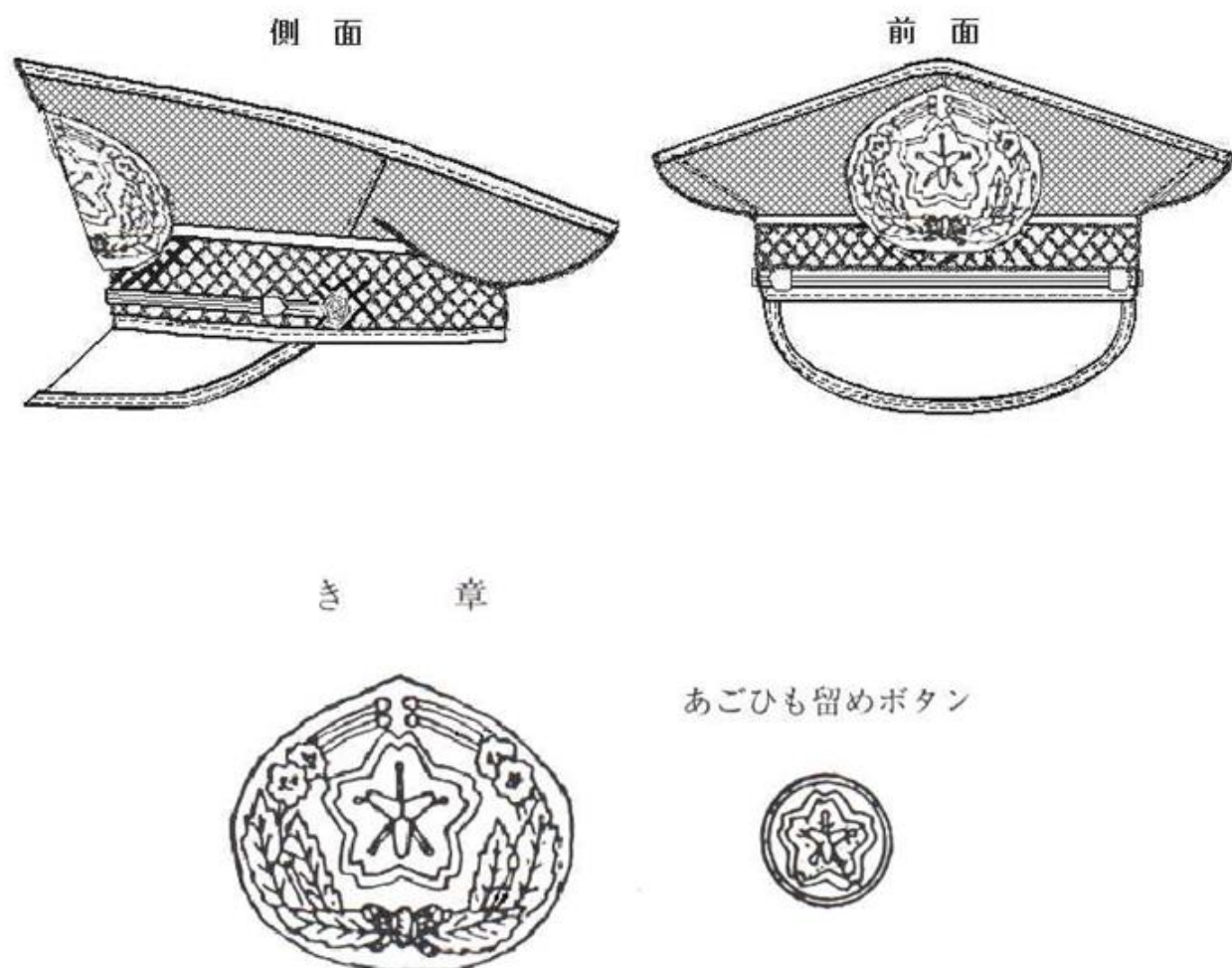
（3）周線 各階級に応じた周線を巻きつけることとする。

（4）寸法 頭廻り 54cm～62cm まで 1cm 刻みとする。

（5）その他

契約者は当市が指示する際、生地メーカーが発行する「品質並びに生地出荷引受証明書」を提出すること。

(6) 概要図



(7) 納期

令和7年6月30日(月)

(8) 納入場所

中央公民館(三の丸会館)防災倉庫